

55—3・4次隊

協力隊派遣受入希望調査表

昭和55年4月

NO. 2

加工・保守操作・土木建築部門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J./333.9
SE
55-2



55年3・4次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

(注) ジョモ・ケニヤッタ大学関係の要請内容は№3に収録しています。

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
201 陶 磁 器	1	フィリピン	有	85	350 自動車整備	1	マレーシア	有	135
	1	フィリピン	有	86		1	マレーシア	有	136
	1	ガ ー ナ	有			1	マレーシア	有	137
211 木 工	1	リベリア	有	87		1	バングラデシュ	有	138
	1	フィリピン	有	88		1	ネパール	有	139
220 板 金	1	モロッコ	有	89		1	エチオピア	有	140
	1	リベリア	有	90		1	ケニヤ	有	141
221 鑄 造	1	西サモア	有	91		1	タンザニア	有	142
	1	P.ニューギニア	有			3	タンザニア	有	143
230 織 維 製 品	1	ホンジュラス	有	92		1	マラウイ	有	144
	1	エチオピア	有	93		1	マラウイ	有	145
240 印 刷	1	エチオピア	有	94		1	マラウイ	有	146
	1	ホンジュラス	有	95	1	マラウイ	有	147	
311 工 作 機 械	1	フィリピン	有	96	1	ザンビア	有	148	
	1	フィリピン	有	97	1	ガ ー ナ	有		
312 冷 凍 機 器	2	マレーシア	有	98	2	P.ニューギニア	有		
	2	マラウイ	有	99	1	リベリア	有	149	
31502 視 聴 覚 機 械	1	フィリピン	有	100	360 電話交換機	1	ガ ー ナ	有	
	1	マレーシア	有	101		1	ガ ー ナ	有	
316 自 家 発 電 機	1	マレーシア	有	102	381 電話線路 無線通信機	1	マラウイ	有	150
	1	チュニジア	有	103		2	ザンビア	有	151
320 電 気 工 事	1	ガ ー ナ	有		1	ガ ー ナ	有		
	1	ホンジュラス	有	104	1	ホンジュラス	有	152	
321 電 気 機 器	1	西サモア	有	105	1	タンザニア	有	153	
	1	チュニジア	有	106	1	バングラデシュ	有	154	
322 電 子 機 器	1	ザンビア	有	107	2	ネパール	有	155	
	1	ガ ー ナ	有		1	モロッコ	有	156	
330 建 設 機 械	1	バングラデシュ	有	108	1	エチオピア	有	157	
	1	ケニヤ	有	109	4	ケニヤ	有	158	
33101 織 機	1	タンザニア	有	110	2	マラウイ	有	159	
	1	フィリピン	有	111	2	マレーシア	有	160	
340 船 舶 機 関	1	モロッコ	有	112	1	ネパール	有	161	
	1	ガ ー ナ	有		3	ガ ー ナ	有		
341 航 海 術	1	ガ ー ナ	有		1	西サモア	有	162	
	1	フィリピン	有	113	1	西サモア	有	163	
350 自 動 車 整 備	1	フィリピン	有	114	1	ネパール	有	164	
	1	マレーシア	有	115	1	エチオピア	有	165	
350 自 動 車 整 備	1	マレーシア	有	116	1	マラウイ	有	166	
	1	マレーシア	有	117	1	ネパール	有	167	
350 自 動 車 整 備	1	マレーシア	有	118	6	ケニヤ	有	168	
	1	エチオピア	有	119	1	タンザニア	有	169	
350 自 動 車 整 備	1	チュニジア	有	120	2	マラウイ	有	170	
	1	マラウイ	有	121	3	マラウイ	有	171	
350 自 動 車 整 備	1	ザンビア	有	122	1	ガ ー ナ	有		
	1	リベリア	有	123	1	西サモア	有	172	
350 自 動 車 整 備	2	ホンジュラス	有	124	1	ザンビア	有	173	
	2	マラウイ	有	125	1	リベリア	有	174	
350 自 動 車 整 備	2	西サモア	有	126	1	マレーシア	有	175	
	1	P.ニューギニア	有		1	モロッコ	有	176	
350 自 動 車 整 備	1	ネパール	有	127	2	タンザニア	有	177	
	1	バングラデシュ	有	128	1	ボリビア	有		
350 自 動 車 整 備	1	シンリア	有	129	1	バングラデシュ	有	178	
	1	ガ ー ナ	有	130	1	ネパール	有	179	
350 自 動 車 整 備	1	西サモア	有	131	1	ホンジュラス	有	180	
	1	ト ン ガ	有	132					
350 自 動 車 整 備	1	コスタリカ	有	133					
	1	ガ ー ナ	有						
350 自 動 車 整 備	1	フィリピン	有	134					

※ ガーナからの受入希望調査表は最後に収録されています。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

新保昭治

201 陶磁器

記入昭和 55 年 1 月 23 日

調査者氏名 佐藤 恵

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) China Ware	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 陶磁器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Iloilo school of Arts and Trades (ISAT)
(日本語): イロイロ工芸学校

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)
所在地: La Paz, Iloilo City 主要都市からの距離 (市内よりキロ)

ハ. 事業規模及び内容: 教育文化省 (Ministry of Education and Culture) 傘下の工芸学校の一つである。西ビヤ地域の工芸学校の総本山であり、ここから教師の供給が行なわれる。1905年設立の歴史も古く、コースも竹工芸、木工芸、電子科など20のコースがある。

ニ. 設備概要: 生徒数 3200名、教職員数 180名、本年度予算 250万ペソ。内陶芸科は20ペソである。設備は数十年前に整えられたが使えなくなったものも多い。

(2) 隊員の業務内容: ビサヤ地域の朱占土をバックに地場産業の育成、発展に協力するものであるが当校に於いて陶芸人を育成し社会へ送り出すのが当面の任務である

① 隊員の業務上の地位: インストラクター (カウンターパートの Mr. パロメロと同じ地位)

② 技術の範囲: 陶芸全般であるが特に屋根かわら、レニガ、タイル製造技術があること、原料にノウハウ、釉薬、焼成技術を持っていること、ロクロ技術があること

③ 業務の形態: 陶芸科の生徒に対する技術指導、Nonformal student に対する指導、カウンターパートに対する欠落面 (ロクロ成形、板づくりなど実技面での) 補充、現地原料を使用した製品を地域社会へ供給する形をとる。またカウンターパートと一緒にリサーチ活動も行なわなければならない。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 対象者は生徒 (High school students 13~16才、college 17~20才) とカウンターパート。カウンターパートは Mr. パロメロで、陶芸科のインストラクターである。1973. Sep 2 ~ 1974 Aug. 19 まで約1年名古屋の産業技術集団研修コース (Nagoya International Training Center) で JICA の研修員として研修を受けており、陶磁器概要、釉薬にはノウハウ、しかし実技面では、生徒に教えることができない。理論面は不足していないと思われる。実技面でのアプローチを期待する。なおカウンターパートは ISAT の卒業生である。

⑤ 現地で利用できる機材: 添付資料参照 ⑥ 使用する言葉 英語 ⑦ 現在オランダ

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ボランティアか1980年内に帰国して後は来なくなる。カウンターパートが実技面でかなり不足しており、そのためトレーニングも十分行なわれていない。実技面での陶芸指導する人が来ることを期待されている。また、学校でつたものは売られている。Mass production による、かわら、タイル、レニガを、つくることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大卒、または高校職業科卒業以上。または2年以上の窯元での経験がある

② かわら、タイル、レニガの大量生産に知識のある人、原料にノウハウ、

ロクロ成形技術があること ③ 語学力があること ④ 男

5 赴任時年令 24才以上 6. 携業できる位に知識をもっていること

* 佐藤恵、隊員の交替要請

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 新保昭治

201 陶 磁 器

記入昭和 55年 3月 18日

調査者氏名 北垣 俊夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) CERAMICS	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 窯業	(女) 人	派遣予定 56年 2,4月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 CERAMICS DEPT, MINDANAO STATE UNIV.			
1. 配属先名称 (現地公用語): ILAGAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY (M.S.U.-I.I.T.) (日本語): ミンダオ国立総合大学, イラガン工科大学 窯業科			
ロ. 隊員勤務先名称: M.S.U.-ILIGAN INSTITUTE TECHNOLOGY (日本語名称 (イラガン工科大学)) 所在地: ILIGAN CITY, LANA DEL NORTE 主要都市からの距離 (市内より キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 1980年度 設立予定の窯業3年コースとセラミック規模は拡大される予定である。 現状としてはインストラクター10名、プラスフラス1名で陶磁器及び耐火物の1年コースを南講している。 生徒数は年間20名、現在まで100名が卒業。MSU-IITの規模としては他に電気、電気、自動車等			
ニ. 設備概要 南講しており、生徒数(総)約4000名程度 → 別紙参照			
(2) 隊員の業務内容: MSU-IITに就いては CERAMICS 3年コースを設立することが当面の課題であり、これらに対するアドバイス等も隊員の業務となるが、通常業務は以下のとおり。			
1. 隊員の業務上の地位: CERAMICS CONSULTANT.			
2. 技術の範囲: 窯業全般 窯の構成(築炉)から製造及び分析まで(無機化学を含む)			
3. 業務の形態: 隊員を直接手助けしていくのが Chair-man として Training Section と Research Section があり、隊員はこの二つの Section を指導する。			
4. 対象者及びカウンターパートの技術水準・学歴及び年令: 現在窯業科には6名のインストラクターがいる。その中3名は、製造について概観と高知見で研修を受けた。他の3名は、化学、物理の調査、試験及び釉薬と耐火物等について JICA の集団コースで研修を受けた。全インストラクターの平均年令は 25 歳程度である。			
5. 現地に利用出来る教材: 別紙設備概要を参照。			
6. 職場におけるオーストラリア人及び日本専門家等の配置状況: 無し。			
7. 使用する言葉: 英語 及び ビサヤ語			
(52/前)			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 北垣俊夫 隊員の交替要請 JOCV が当プロジェクトへの協力活動を開始してから6年が過ぎた。この間陶磁器製造訓練を中心に3ヶ月コースから1年コースへと土台作りを行ない、約やく同大学の目標である窯業全般を教えられるアカデミックな学部の設立のための立案の段階に来た。今後この計画を実行に移してゆくため、JOCV の協力を求めている。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 資格としては特にないが、教育に関する点なので本格的な窯業指導を受け、その指導経験のある人が望ましい。 しかし次の条件を満たすこと。陶磁器のみならず(窯業全般)、原料分析等の面で(無機材料化学)粘土の(調査、焼成) 調査及び製造に対する(物理的・化学的)に理解修得していること。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

211 木

工

記入昭和 54 年 12 月 20 日

調査者氏名 後藤 俊男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	(現地公用語) Carpentry / Joinery (日本語) 木工	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 55 年 4 月 派遣予定 55 年 8 月 受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LABOUR, YOUTH AND SPORTS

(日本語): 労働、青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: Monrovia Vocational Training Center 日本語名称 (モンロビア職業訓練校)

所在地: Monrovia

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

女性の援助と技術者養成のための新設職業訓練校

ニ. 設備概要: 現在、設置機材の検討中

(2) 隊員の業務内容:

上記、新設の教官として、カリキュラムの策定、教材の準備、理論の授業、実技指導に従事する。

具体的打撃としては、

1. 基本実技 (基本工具使用法、機械作業、工作作業)

2. 組立て、及び仕上げ基本作業

3. 製図

4. 応用実技

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

リベリア国において中間技術者養成は急務であり、J.O.C.V. に期待も少なからざる所がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

220 板 金

記入昭和53年10月2日

調査者氏名 神谷弘司
本村 夏二夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Sheet Metal Work (Automobile Body Work) (日本語) 板金(自動車板金)-D	(男) 1人 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 54年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower Youth Council (NMYC)
(日本語): COMSD

ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development 日本語名称 (国立中央職業訓練校)
所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (マニラより10キロ)

ハ. 事業規模及び内容:
比国際労働省(最近国内事情に利大積金交付けはる)傘下で国連(UNDP/ILO)と共同で
ロ以外方式で out of school youth, 地才工業学校教師, 一般企業人を対象にした職業訓
ニ. 設備概要 種指導 B or up-grading 教育を行っている。
一般板金 塗装工具は所有しているが、ボルトワッシャー、フレーム修正機、赤外線ランプはない。

(2) 隊員の業務内容:

現在 COMSD 自動車科には ディーゼルエンジンコース、電装品コース、エンジンオーバーホールコース、アンダーシャシーコースの4コースがあるが、他のセクションに比べて比較的に資金が乏しい。しかも市場需要の強い自動車板金コースが開設されることになった。隊員は当初の業務はコース開設に先立ち、資機材の確保、教材の調達、カリキュラムの設定である。日本では板金と塗装とが分離しているが、比国では分離して教えることができないため、板金、塗装両方の知識、技術が必要となる。

- ① 隊員の業務上の地位: インストラクター。
- ② 技術の範囲: 板金(フレーム修正を含む)、塗装一般に関する知識、技術。
- ③ 業務の形態: インストラクターとしての職業訓練教育。
- ④ 対象者がB or up-grading: out of school youthを主体とする。現在A or B or up-grading はない。
- ⑤ 現地で利用可能な機材: 一般的に板金、塗装工具のみ。
- ⑥ 予備員等: ILO専門家(2人)……自動車科 1979年春で任期終了。
- ⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規申請。
板金、塗装コース開設による out of school youth を対象にした職業訓練教育が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
技術系高校卒又は職業訓練校卒以上で実務経験最低4年以上の人が望ましい。英語力も必要。板金が中心だが、塗装に関する知識も必要(塗装は研修等で補う)。
28歳以下。 車体整備士、ガス・パーク溶接士、塗装士の資格も必要。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53 年 9 月 9 日

220 板 金

調査者氏名 山本 雅生

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
モロッコ国	(現地公用語) TRAVAIL DES FEUILLES METALIQUES (CARROSSERIE D'AUTOMOBILE) (日本語) 自動車板金	(男) 1 人	訓練開始 年 月
		(女) 人	派遣予定 1979 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Office de la Formation Professionnelle et de la Promotion du Travail. (M.T.F.P.)
(日本語): 職業訓練技術板金会社 (当地: 職訓省) と 職訓学院 会社
- ロ. 隊員勤務先名称: Institut National de Formation des Cadres Techniques (I.N.F.C.T.) 日本語名称 (国立技術養成学院)
所在地: Casablanca: 648, Biv. Mohamed V, Casablanca 主要都市からの距離 (Rabatより 90キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 当国職業訓練は上記職訓学院板金会社と統轄されており、現在同国に工業建設関係の訓練センターが 28ヶ所存在している。I.N.F.C.T. は訓練センターの教官養成機関であり、入学受験資格は高等学校卒業、修学年限は 2 年間であり、
- ニ. 設備概要: 各訓練科目の実技・産学用設備が整っている。

(2) 隊員の業務内容:

- イ. 業務上の地位: Conseiller Technique (技術顧問)
- ロ. 技術の範囲: 上記業種科目の技術士資格を有し、数々の技術経験者の通常有るもの
- ハ. 業務の形態: 実技と並行して理論を平行して教える教官の役割並に教官の技術顧問
- ニ. 対象者: 少人数修成クラスの学生、又は技術顧問として教官の教官 (Formateur) 学生は上記の通り、高等学校卒業、教官は大学相当の技術者養成機関の出身者
- ホ. 機材: 基本的には設備されている
- ヘ. 諸外国の協力: 現在は居ない、過去の某国がラジエター、実技能力面及び語学力不足から着任 3ヶ月で辞任している。
- ト. 使用言語: フランス語
- チ. 業務時間: 週 40 時間
- リ. 附記: 職訓学院板金会社理事長は当地職業訓練省 (M.T.F.P.) 大臣が主宰し、理事長は経営者代表及び労働者代表が入っており、会社の事業目標は産業界の需要に答えるべく中級・下級技術者の養成と努めることと同様、併せて、進学不可能な青少年を人的資源として生かすこと、28ヶ所の訓練センターの技術科目の現在下層に列記の通りであるが、必要時は、その教官養成機関からのものである。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

INECT. に於ける教官養成科目増設に伴う技術者補填の必要性を背景とする。当地職業訓練省の職業訓練局では、同省に対する日本の協力として、諸外国に並び訓練センターの設置を要望し、そのための人口の 5割を占める青少年に対する技能教育の振興は当然の要請である。中でも主要分野に於ける職訓省の教官養成は必須である。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 職業訓練経験相当可能な語学能力、専門技術、高等教育卒業後数年の経験と有し当該分野に於いて必要は職業教育の経験者
- (電工工業、冷凍空調、自動車修理、プラスチック加工、機械製作、製粉、車輪機、写真、織機、製糖、基礎機械、基礎電気、自動車修理、板金、鍛造、旋盤、フライス盤、シールド機、製糖機械、ラジエター、電気修理、工具、ボイラー、工業デザイン、機械修理、金物加工、印刷機械及び建築関係の科目)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

220 板

金

記入昭和 54 年 12 月 20 日

調査者氏名 後藤 俊男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	(現地公用語) Auto Body Work	(男) 1 人	訓練開始 55 年 4 月
	(日本語) 自動車板金	(女) 人	派遣予定 55 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LABOUR, YOUTH AND SPORTS

(日本語): 労働・青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: Monrovia Vocational Training Center 日本語名称 (モロビア職業訓練校)

所在地: Monrovia

主要都市からの距離 () より () キロ

ハ. 事業規模及び内容:

在留の援助として、中南技術者養成のための新設職業訓練校

ニ. 設備概要:

現在、設置機材の検査中。

(2) 隊員の業務内容:

上記、取組の教官として、カリキュラムの策定、教材の準備、理論の授業、実技指導に従事する。

具体的内容としては、

1. 基本実技 (機械作業, 測定作業)
2. 板金工作法と実技
3. 安全衛生作業法
4. 応用実技

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

リベリア国において中南技術者養成は急務であり、J.O.C.V. を期待も少なからざるものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験 3 年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53年 11月 20日

220 板 金

調査者氏名 小野 隆一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サエ	(現地公用語) Panel/spray Painter	(男) 1人	訓練開始 53年 4月
	(日本語) 板金塗装工	(女) 人	派遣予定 53年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Public Works Department
(日本語): 公共事業者

□ 隊員勤務先名称: Workshop 日本語名称 (整備工場)
所在地: Vaitile 主要都市からの距離 (Piaより 5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 西サエ政府所属の倉庫の修理保守管理を行うこと。作業員は139人の10のSectionから成り立ち、その中Panel PainterのSection 2人中心。敷地一帯の木材修理工場。本サエPAの2名外も
ニ. 設備概要: 12台のトラック。設備は近代的なもので設置されている。倉庫には18台のトラック、カクソン 20-1977054台。FLAT TRUCK 16台あり。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: Leading Hand (指導職工) の地位にあり, Torman (隊長) からの指示を受け、又補佐し、教育訓練製作に部下30人を指導する。
2. 技術上の範囲: 7-727707の業務命令のX-7以下及び、熱帯気候に合わせた作業の指導、Training/Lectures などの指導に必要とする。
3. 業務の形態: 工場指導型である。
4. 経験者及びそのレベル: 経験者及年齢: 年齢は平均26歳前後である。学歴は高卒程度、2-2-2-2の職業訓練校卒業者多数である。多くは、西サエ国立職業訓練大学校自動車科の出身である。中には、卒業後一歩の中心で働いている人もある。
5. 現地で利用可能な機械: 倉庫設置を中心に、希望のものは購入する。但し、特別の設備は必要はない。
6. 職場における外国人及日本の専門家の派遣状況: 本サエPAの専任隊員370名のうち、1979年7月現在、11名派遣されている。
7. 使用言語: 英語、サエ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本サエPAは主体的に指導し、実質的指導を必要とする。彼らは、現地のレベルに即して、実質的に指導し、そのための教育訓練を必要とする。希望は、将来にはサエ側のレベルを向上させることにある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
学歴は、高卒以上、職業訓練校を卒業していること。年齢は、18歳以上、25歳以下。2-2-2-2の命令は、実際の各隊員に即してあり、その理論と現場の出来入りの管理は、Training 及び、そのための準備である。特に、日本語の能力は、必要ない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 11 月 17 日

221 鋳造

調査者氏名 小川 賢

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	MANUFACTURA DE MODELOS	(女) 人	派遣予定 1980 年 8 月
	(日本語) 鋳金(鋳造)	(どちらでも可) 1 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA 文部省

イ. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION MEDIA (DEPTO. EDUC. TECNICA)
(日本語): 中華教育局 技術教育課

ロ. 隊員勤務先名称: SERVICIOS TECNICOS (MIN. DE EDUC.) 日本語名称 (技術普及部門(文部省内))
所在地: TEGUCIGALPA, D.C. 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 専門技術者育成を目的として6年制(日本の中・高校に相当)工業学校を管轄におく。この工業学校では一般教養や基礎工学技術を習得させ、大学入学への道を開いている。従来、技能訓練校であったが、昨年2月より、世銀の援助もあり、工業学校に発展し、現在1年生140名、2年生90名を擁す。

ニ. 設備概要: 教室12、講堂、図書館、実習室11(電子、電気、冷凍空調、自動車、工作機械、鋳造、板金、鍛造、溶接、鉄構、配管、木工)として実験室などを有す。

(2) 隊員の業務内容:

上記の工業学校で、鋳造技術教官として、ホンジュラス人教官と協力し、各種実習コースのうち、鋳造実習、鋳造技術、理論を生徒に教える。また、隊員の身分は、文部省内技術普及部門付となり、必要あれば、他の工業学校にも技術教官として巡回指導する場合もある。

① 隊員の業務上の地位 …… 文部省技術普及部門付鋳造技術教官

② 技術の範囲 …… 鋳鉄、ブラス、軽金属による砂型鋳造技術。また、現在のところ設備はないが、理論技術として、ロストワックス法、精密鋳造法、遠心鋳造法、ダイカスト法など各種鋳造法にも詳しいこと。

③ 業務の形態 …… 授業時間 7:30 AM ~ 3:00 PM、1授業単位40分、月~金曜 1クラス30名、座学と実習を交互に行なう。鋳造は各種実習コースのひとつ。

④ 対象者 …… 中・高校生13才~18才、ホンジュラス人教官とのカリキュラム、指導法の策定。

⑤ 現地で利用できる機材・設備 …… 鋳造実習室には、鋳物砂処理器、電気炉3セット、砂型枠約30セット、熱処理用電気炉、万力、工具類完備、材料試験器、金属組織用顕微鏡、研磨セットも利用できる。

⑥ 専門家、オ3国人の配置 …… なし

⑦ 使用言語 …… スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請

ホンジュラス政府は、産業振興、工業レベル向上のため、優秀な技術者の育成に注力している。鋳造技術はまだ初歩的な段階である。文部省でも、機械工作技術の基礎のひとつである鋳造について、今後の技術者の備えるべき技術として重要視している。隊員による日本の進んだ技術・知識の現地移譲に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒、或いは大学工学部卒で、機械工学を履修した者、最低3年ほどの実務経験を有すること。指導経験があれば尚良。砂型による鋳造技能が必要。技術面にも明るく、各種鋳造法の理論、実際に精通していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査

230 繊維製品

記入年月 55年 4月 / 月

調査者氏名 劉楚自 梅子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エチオピア	(現地公用語) Textile Technologist	(男) 1人	年 月
	(日本語) 繊維技術	(女) 人	56年 2~4月
		(どちらでも可) 人	年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): 工業省 Ministry of Industry
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: National Textile Corporation 日本語名称 ()
所在地: Addis Ababa 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

革命後 国有化して設立した公社を年下 10工場を
有する。

ニ. 設備概要: 利権特許。

(2) 隊員の業務内容:

1. 技術者。
2. 電力に對し本部勤務のアドバイザーとして各地の工場におもむき指導にあたる。 2. 一工場の専属となる。
3. 対象となる素材又は装置は 綿とアクリルである。
4. 過去宿土術が全面的に技術協力していた。
5. 工側は相当な技術者 (専任家に近いレベル) を要している。
6. 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

工側だけの運営には技術面の問題が多い
部分の間 日本よりの技術指導を願っている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○専門技術者であること。 ○経験十分なり。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 / 日

230 繊維製品

調査者氏名 訓 整身 梅幸

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
I 伊予	(現地公用語) Weaving Expert	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 織物	(女) 人	派遣予定 56年 2~4月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
イ. 配属先名称 (現地公用語): 工業省 Ministry of Industry			
(日本語):			
ロ. 隊員勤務先名称: National Textile Corporation		日本語名称 ()	
所在地: Addis Ababa		主要都市からの距離 (より キロ)	
ハ. 事業規模及び内容:			
革命後 国有化と同時に設立された公社で傘下 10工場を有する。			
ニ. 設備概要: 別紙参照。			
(2) 隊員の業務内容:			
1. 技術者。			
2. 実力により本部勤務のアドバイザーとして各地の工場におもむき指導にあたる。 2. 一工場の専属となる。			
3. 対象の原料素材又は製品の綿とアクリルである。			
4. 過去宿土術が全般的に技術協力していた。			
5. 工場は相当な技術者 (専任家に近いレベル) を要している。			
6. 英語。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
工場向けの運営に技術面での問題が多くあり 当分の間日本への技術指導を願っている。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
○専任技術者であること。 ○経験十分あり			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

240 印 刷

記入昭和 55年 3月 20日
 在米邦交調整室
 調査者氏名 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) IMPRESA Y ENCLADERNACION (日本語) 印刷・製本	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 91年 2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL 国立職業技術庁

イ. 配属先名称 (現地公用語): CENTRO MIRAFLORES
 (日本語): 職業技術訓練センター

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 (職業技術訓練センター)
 所在地: TEGUCIGALPA, D.C. 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 国立職業技術庁 (INFOP) は国家開発計画に基づき産業振興の基礎となる人材の育成 (技術・技能者養成) を目的として設立され、1979年より本格的な活動が開始された。
 テグシガルパに INFOP 本部があり 国内5か所に技術訓練センターを有する。

ニ. 設備概要: 職業技術訓練部門は Tegucigalpa, San Pedro Sula の2か所にセンターがあり、教育指導が行われている。設備は国内企業からの拠出金、同連、西ドイツの援助により約8割は整備されている。

(2) 隊員の業務内容:

隊員はテグシガルパ 職業技術訓練センターに配属され、青年 (15才~18才) の生徒、INFOP 職員、国内企業 (印刷製本) の従業員に対し印刷 (オフセット中心)、製本についての講座 (理論・実習) を行なうもので必要に応じて印刷製本所を巡回指導、講習会も実施する。文化・教育の向上、普及には印刷、製本技術は不可欠なものであるがホンデュラスには専門技術教育を受けたものがおらず、市場産業育成のためにも技術者養成が政府の重要な目標となっている。INFOP は一般民衆のための技術教育機関で中心になっている青年部門は、小学校卒業者が入学試験を受けられるシステムになっている。(1クラス15人編成、3年制)

① 隊員の業務上の地位 = 職業技術訓練センター教師、指導員

② 技術の範囲 = 指導対象者が小学校卒の一般民衆と国内企業の従業員が中心であるところから高度な技術は必要としないが実務経験が最低3年は必要と云える。印刷 (オフセット)、製本の知識、技術経験に加え他の印刷技術、写真の基礎技術、編集技術も指導上不可欠である。教材書、教材の作成、授業計画 (年間、講習会) も現地事情に合わせ考案、実施する。

③ 業務の形態 = 訓練センターの時間制、午前7:00~午後3:00 (青年部門) 午後6:00~8:30 (企業者再教育)

④ 対象者 = INFOP 生徒、職員、国内企業従業員

⑤ 現地で利用できる機材 = 指導、実習に必要な機材は8割程度整っているが教材書、マニュアル類が足りない。基礎指導書を持ちの上、派遣後隊員自身が研究し、現地に合わせた指導法を考案する。

⑥ 専門家の配置、西ドイツ専門家 (印刷、製本部門) にはなし ⑦ 使用言語、スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国家開発計画において教育、技術の向上と地方普及は最大の課題であり目標である。印刷、製本部門には現在まで技術者が育っておらず、技術普及、教材作成、現地側技術者育成と、技術教育、指導法に優れている日本の青年に対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒以上、実務経験3年以上は絶対条件。印刷、製本技術の他、写真、編集に関する基礎知識及び経験を有すること。職業訓練指導員資格があればなおよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

新保昭治

311 工作機械

記入昭和 55年 2 月 日

調査者氏名 伊藤 衛佐

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Machine Tools	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 工作機械(精密加工)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower Youth Council (N.M.Y.C.)

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称 Office of Manpower Skills Development 日本語名称 (国立中央職業訓練校)

所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (マニラより 5 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要: 別紙参照

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 機械科の教官及びアドバイザー

② 技術の範囲: 現場技術のみならず広範囲な技術
(精密加工についての知識があり, 工具研削盤, 平面研削盤, 円筒研削盤, フライス盤, 旋盤, E.D.M. 等が扱えることよ)

③ 業務の形態: 訓練の開発

(当訓練所は地方センターのパイロットセンター的役割をもちいること)
Out of School Youth に適した訓練を当センターで開発して地方センターへそのノウハウを波及することは意味のあることと考える。

④ カウンターパートの技術的水準: 技術系大学卒, 一般企業で働いた経験あり
技能水準は地方センターのインストラクターに比較すると高い, 数学等に弱いが言葉としては豊富な知識をもつ, ただそれが正しく理解されることが実際に役立つ技術となるかは疑問である。

⑤ 職場における第3国人等: いなし

⑥ 現地で利用できる機材: 別紙参照

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

Out of School Youth に対する効果的訓練の開発, 人的・物的両面にわたる訓練環境の整備

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験が最低3年以上の人を望む。

日本の職業訓練所, 工業高校, 企業内訓練所等で指導経験があるとよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

311 工作機械

記入昭和54年9月10日

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Machine Tools (Metrology)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	どちらでも可) 人	受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower and Youth Council (NMYC)
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称 Office of Manpower Skills Development (OMSD) (日本語名称 国立中央職業訓練校)
所在地: T. Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (マニラより5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 比国の大統領府と国連 (ILO, UNDP) と共同プロジェクトで out of school youth, 地方訓練校の教官, 工科大学の教官, 一般企業人を対象とした職業訓練指導を専ら実施している。なお, 地方には 10 の Training Center がある。

ニ. 設備概要: 国連が援助に入っているために高価な機械がかなり導入されている。又, 設備等もかなり整備されている。 (科)

(2) 隊員の業務内容: OMSD に所属する 10 人のうちの Metrology Section においで。OMSD の中で Trainee が 必須で Metrology を学ばなければならない。また, 基礎的な数学の知識も必要である。又, 精密測定 (科)

① 隊員の業務上の地位: JOCV EXPERT

② 技術の範囲: 高度な精密測定技術を必要とする。簡単な測定器, 測定具の正しい使い方, 測定法, Up-Grading のための資料作り, 教材用測定具模型の測定用工作物の製作。なお, 指導にあたりは基礎的な数学の知識も必要である。また, 高度な精密測定技術の場合には理論的な説明も必要になる。例えば, 表面仕上げ, ねじの有効径, 抄等。X-線法による測定も重要な任務になる。

③ 業務の形態: ① 1人1台を対象とした 1V-27, ② Trainee を対象とした 1V-27

④ 指導者 1人1台1台: 上記のとおり。1人1台2名以上。

⑤ 現地に利用可能な機械: 表面計測機 (三豊製, 91P III Power Trace, 記録計付付), 投影機 (三豊製, 91P PJ-250), コンパルター (三豊製, Code No. 519-123A), 工具顕微鏡 (三豊製, 91P BI-5), 偏光測定器 (Jones-Shipman 代理製, 91P 2200-221/1), シリコーゲージ (三豊製), 111ゲージ (三豊製)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1. ガス多様 (三豊製), 2. 170X-9 (三豊製, Brown & Sharp, スイス製) サイバー等。③ 外国人等: なし。④ 使用する言語: 英語。

小杉公弘隊員 (53/ 後期, 工作機械) の交替要請。
OMSD 1V-27 の基礎となる 1V-27 の教育内容の充実化が期待されている。 (科)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 高校卒業以上の学歴を有し, 測定器具に関する知識 (使用方法) が及ぶこと。
2. 専修経験 2~3年。
3. 赴任時年齢 25才以上。
4. 英語力が及ぶこと。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

311 工作機械

記入昭和 54 年 3 月 15 日

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サラワク州)	(現地公用語) Industrial Arts Teachers	(男) 2 人	訓練開始 54 年 月
	(日本語) 工業学科教師	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Education Sarawak

(日本語): サラワク文部省

ロ. 隊員勤務先名称 Green Road Government Lower Secondary School 日本語名称 (774-2011 中等学校)

所在地: Green Road Kuchin Sarawak Malaysia 主要都市からの距離 (km) 約 5 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 2,358 人 (14才~16才), 先生 84 人. 1732 25%~30%
3年間の中等教育

ニ. 設備概要: 別添写真参照 一応基本的な機材及び設備はある。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 工業学科教師

② 技術上の範囲: 電気学, 金属学, 機械工学, 木工学 及び 製図

③ 業務の形態: 学等について 基礎的な理論及び実技を教育
する。(別添写真参照の事)

④ 対象者: 14才~16才程度の中等学校の生徒 (From I, II, and III)
(教材の資料として)

⑤ 現地機材: 基本的な機材はあるか 着任後
カバレッジを持参した方がいい (別添写真参照の事)

⑥ 母国語: カタオのホラステイ 1人から 社会学を教えている。

⑦ 使用語: 英語 (生徒はマレー語及び英語を理解するが種々の状況を考えた場合英語の方が良いと判断した)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中等学校の生徒 (14才~16才) に 電気, 金属, 機械, 木工, 製図等の基礎理論及び実務について 全般的な事を教える。生徒に対する能力の開発を指導してもらい、工業に対する知識及び技術の啓蒙及び向上を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

↓ 日本においてこの分野を教育する事の出来る人を見つける事は困難である事は理解しているが、いっかゝ工業学科について 訓練及び教育を受けたいという意欲のある人物で、中等教育について 興味又は情熱をもちたい者。

② 英語又はマレー語を教育出来る能力のある人物

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

311 工作機械

記入昭和 55 年 2 月 10 日

調査者氏名 稲田 武司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) MACHINE TOOLS	(男) 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 工作機械	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 2 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 工業補給省			
イ. 配属先名称 (現地公用語): PLANT & VEHICLE HIRE ORGANIZATION			
(日本語): 車輦自動車貸借局			
ロ. 隊員勤務先名称: LU WORKSHOP OF BT WORKSHOP 日本語名称 (ロンドン又はタンザニア工場)			
所在地: ロンドン又はタンザニア 主要都市からの距離 (より キロ)			
ハ. 事業規模及び内容:			
ニ. 設備概要: RADIAL DRILL, VERTICAL BORER, LATHE, MILLING MACHINE SHAPER, SURFACE GRINDER, CRANKSHAFT GRINDER, GEAR HOBBER			
(2) 隊員の業務内容:			
1. TECHNICAL OFFICER			
2. 上記ニ. の工作機械の操作, 維持, 調整。			
3. 上記ニ. と共に マラウイ人スタッフの訓練にあたる。			
5. 〃 三. 参照			
6. 仏語			
7. 英語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
1. 工科大学以上。			
② 資格に乏しいは特に問われないが (1) ニ. に記した工作機械に通じている者。			
③ 実務経験 5 年以上。			
④ 年齢 25 才程度			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月6日

312 冷凍機器

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Refrigerated Air Conditioning	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冷凍・空調機器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower and Youth Council (NMYC)
(日本語):

2. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development (OMSD) (国立中央職業訓練校)
所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (マ)より5キロ

3. 事業規模及び内容: 国連(ILO, UNDP)の共同プロジェクトで out of school youth, 地方訓練校の教官, 工科系大学の教官, 一般企業人等を対象とした職業訓練指導員養成コース。在り地方に10の Training Center を有する。

4. 設備概要: 国連ILOからの機材援助により, 主要設備はほぼ整った。当冷凍機は新しく増設したため旧機と比較してV-V型機は未だ未だ整備が不十分であるが、V-V型機は機材到着後、整備される。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は専門技術者のみならず、業務の運営に関与する業務も行う。

① 隊員の業務上の地位: JOCV expert.

② 技術の範囲: 冷凍空調に関するV-V型機材の修理 (MOCK-UP, MODEL BOARD等), 12ストロークのUP-grading 教育で、20分程度の技術全般に亘る。

③ 業務の形態: 冷凍空調の健全な普及、V-V型機材の作業、12ストロークの会社と工場に於ける直接教育及びカリキュラムの作成。

④ 対象者の心身の状態: 12ストロークの2名(臨時)で技術程度は低い。

⑤ 現地で利用可能な: 12ストロークのV-V型機材(家庭用冷機)庫6台, 同クーラー8台, カーエアコン用 Mock-up 3台, 12ストロークのV-V型機材(ボード)1面, 電気溶接機1台, スポット溶接機1台, アーク溶接機2セット, カーエアコン用工具100個, 同クーラーユニット5台, 同特殊工具2セット。

⑥ 本邦人等: なし。

⑦ 使用する言語: 英語。
* 現存在庫機は家庭用冷機、エアコンユニットとカーエアコンユニットとがあり、今年度末からは新ユニット(商業用冷凍空調)増設の準備が進められております。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 猪野毛博昭隊員(33歳, 後期, 冷凍機器)の指導経験、ILOが当プロジェクトを支援する中で健全な普及の意図が込められており、又、特に当プロジェクトの隊員が増設したことで、完全に健全な状態を期待しております。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 高卒以上で実務経験が5年以上あること。特に修理の経験が豊富であること。
2. 冷凍の種類以上の資格又は、これに同等の能力を有する人。
3. 英語が出来ること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年10月11日

312 冷凍機器

調査者氏名 金城光男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Refrigeration & Air Conditioning	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冷凍機器	(女) 人	派遣予定 54 年 10 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokesyenal, Kelang 日本語名称 (職業訓練高校)
所在地: スラバヤ州 フラン市 主要都市からの距離 (K.Lより45キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1978年創立。中学生を対象とした2年課程の職業訓練高校。新設校のため目下は1年生のオ302名(ウ5セ380名)職員23名。来年度からは人員規模が倍となる。開設コース: 冷凍機器、ラジオTV修理、電気工事

ニ. 設備概要: 自動車整備、溶接、工作機械、おまひ商業。
↳ 冷凍機器科の設備概要等は別添写真参照

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位:

同校の教職員として冷凍機器科に配属され理論及び実習の指導に当たる。

② 技術の範囲:

パケット型エアコン、家庭用冷蔵庫、車両用エアコン等の修理調整の実習おまひ冷凍空調理論の指導が主である。

③ カウンターパートおまひ対象者:

教員は全員技術教員養成大学(TTTC 3年課程)卒業生であるが、理論はともかく実技に弱くという定評がある。

生徒は日本の高1、2に相当するが進学コースに進めない"落ちこぼれ"を集めてあり学力は一般的に低い。

④ 使用する言語:

マレー語習得が望ましい。但し、補助的に英語が使用される事もある。

⑤ 利用できる教材:

教材おまひ工具は一通り揃っている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

職業訓練高校配属の教員の多くは教科書の知識は有ているが実技経験に乏しい。日本隊員の实技能力を導入して教育内容の充実と併せて日本人の勤労とを学ばせたいという期待がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上
実習経験 3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 9月 15日

312 冷凍機器

調査者氏名 真野忠経

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Refrigerator & Air Conditioning	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冷凍 空調	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education, Technical & Vocational Education Dept.
(日本語): 文部省技術職業訓練教育局

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokesyenal 日本語名称 (職業訓練高校)
所在地: Sanggam, Temeloh 主要都市からの距離 (KLより152キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 中学卒業生を対象とした2年課程の職業訓練高校
冷凍機器, ラジオ・TV修理, 電気工事, 工作機械, 自動車整備, 溶接の
各コースがある。現在福田正幸隊長が自動車科で活動中。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

中学卒業程度の生徒を対象に冷凍機器の修理に因りて実習指導に
協力する。

授業に使っている教材は、109-ジ型エアコンや家庭用電気冷蔵庫及び
冷凍空調の理論説明の用のモデル作りにも協力する。

生徒は、中学卒業時時点で上級学校への進学資格が得られず、転取に
備えて職業的技術習得を志す者が一般的に学力が低い。

授業にマレー語使用。

工具類は一通りそろっているが、携行すべき機材はない。(作業版程度)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は産業実務経験が乏しく知識は教科書のみに依頼している。
実務経験豊かな隊員から進んだ技術を授け、共に校風確立のため
日本人の勤労の姿勢を学ぶたいとしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専門高校卒業以上。 実務経験2年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

312 冷凍機器

記入昭和 54年 7月 12日

調査者氏名 柳井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
チュニジア	(現地公用語) Refrigeration industrielle	(男) 1人	訓練開始	54年 10月
	(日本語) 冷凍機器	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定	55年 2月
			受入期限	年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): **Ministère des Affaires Sociales**

(日本語): **社会事業省**

2. 隊員勤務先名称: **CIPE (下記参照)**

日本語名称 (電気技術職業訓練所)

所在地: **Boulevard 9 Avril 1938, Tunis**

主要都市からの距離 (Tunis 市内)

ハ. 事業規模及び内容: 電子コース(約2年)にテレビ部、ラジオ部があり、電気コース (Electromécanique) に電動機、屋外配線、制御配線、冷凍機器の各部があつて常時的150人の生徒が訓練を受けている。電気コースの修業は18か月である。

ニ. 設備概要: 電気に関する訓練所としてはチュニジアでトップクラスである。工具に関しては完備、設備としては7~8年前にフランスが残したままのもの。1978年にテレビ機材がJOCVが寄贈された(約150万円)。

(2) 隊員の業務内容: CIPEの正式名称は **Centre d'Instruction et de Perfectionnement**

d'Electrotechniqueである。隊員は本訓練所の冷凍機器部 (L'atelier froid) に勤務。現在2人のチュニジア人教師があり、他に1人現在フランスへ研修に行つている。業務内容についてみると、小型クーラーは教材が少いので、理論だけで終つているが、冷蔵庫(100L~150L)は理論、実習、修理 (Dépannage) を行つている。当面は、実習とDépannageを手伝うことにはなるが、後には理論および訓練プログラムの再検討も仕事となる。現在のプログラムはフランス人がかつて作成したものをそのまま10年近く引き継いで使用している。この冷凍機器コースは最初電気に関する基礎教育を3~4か月受けて、そのあと18か月間にわたつて冷凍機器について訓練を受けるものである。生徒は17~20才位で、1クラス25~30人位で2つのグループに分かれて訓練を受けている。隊員のカウンセラーに相当するチュニジア人教師は30才代である。隊員の勤務時間には月一金で週32時間、土、日は休みである。なお、6月15日~9月15日の3か月については夏期勤務時間となり、7:30AM~1:30PMの6時間×5日(月~金)=30時間である。

隊員が使用するテスター、携帯用電気工具等は持参した方がよい。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上記CIPEへのJOCVの協力は昭和50年11月以来であり、すでに千名の隊員がテレビ部、ラジオ部、電気コース(電動機、制御配線)において協力の活動を実施している。この成果に立ってCIPE側は新しく冷凍機器コースへも日本の協力隊員の派遣を要請してきたものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 冷凍機器類についての知識を有し上記17~20才位のチュニジア人生徒にその内容を指導できること。望ましくは大学工学部卒で実務経験2年以上あること。フランス語を向うのものとする意欲のある者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 9 月 10 日

312 冷凍機器

調査者氏名 田中研一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) ACONDICIONADO	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冷凍空調	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 1980 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL 国立職業技術庁			
イ. 配属先名称 (現地公用語): "CENTRO SAN PEDRO SULA"			
(日本語): サンドロ・スラ 職業技術センター			
ロ. 隊員勤務先名称: "CENTRO SAN PEDRO SULA"		日本語名称 (サンドロ・スラ 職業技術センター)	
所在地: SAN PEDRO SULA		主要都市からの距離 (より キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: サンドロ職業技術センターは、十二学科を有する同国有数の職業教育施設である。生徒数約300名、教官数約50名である。冷凍空調科は、生徒数約30名、教官数3名。			
ニ. 設備概要: 一元の教育用設備。工具類が備えられているが、十分ではない。			
(2) 隊員の業務内容:			
国立職業技術庁長官から「協力隊員は、単なる協力アシスタントとしてではなく、教官の一員として、研修を受け、同時に、同量の仕事をしたい。」と述べられているように、ホンジュラス人教官とほとんど変わらない内容の職域及び地位が与えられている。着任後2ヶ月間の教育研修(①教育原理 ②指導法 ③指導実技 ④評価)をホンジュラス人新採用教官に混って受講ののち、それ以後授業を担当させられるシステムが採られている。現在、午前7時から午後4時まで授業が行われているが、将来は夜9時迄の夜間講座も開かれる予定。			
① 隊員の業務上の地位: サンドロ・スラ 職業技術センター 教官。			
② 技術の範囲: 日本の職業訓練校の冷凍空調科のレベル。			
③ 業務形態: 日本の職業訓練校教官と同様、同時の仕事。			
④ 指導者及びカリキュラム: プリント教材と併用する初級コース(18才前後)を指導する。ホンジュラス人教官は優秀であり、互いの協力が不可欠。カリキュラムの人材は心配なし。			
⑤ 現地設備: 空調モデルや必要工具が導入されているが、まだ不足のようである。			
⑥ 職場の外国人及び日系専門家: 直接冷凍空調科には関係ないが、ドイツ人技師が数名。			
⑦ 使用言語: スペイン語。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新想要請。			
市場の冷凍施設は、ほとんど見られず、生活水準の向上により、こうした機器の需要は増大の傾向にあり、その修理技術は強く求められている。INFOPのセンターにて、毎年生徒数を増加していく方針のため、教官の絶対数が足りず、協力隊員にかける期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):			
① 専門学校卒業以上、実務経験4~5年。			
② 年齢は25才以上(これはホンジュラス人教官とのバランスから)			
③ 職業訓練指導の経験があればなおよい。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 3日

312 冷凍機器

調査者氏名 伊藤 英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年 2月
	冷凍機器	(どちらでも可) 人	受入期限 56年 2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Dept. of Economic Development
 (日本語): 経済開発局

2. 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称 (水産局)

所在地: APJA 主要都市からの距離 (上り 千0)

3. 事業規模及び内容:

冷凍機 10台, 製氷機 4台, 発電機 10台
 海水浄化装置, 冷凍庫等。(ディーゼル・エンジン)

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 国内に設置された冷凍機・発電機・ディーゼル発電機の保守管理に当たる。併せて水産ロープーに新設された海水浄化装置, 冷凍庫, 製氷機等の保守管理も行う。

- ① 業務上の地位: 冷凍機器部内の責任者として、直接、水産局長の指示を受ける。
- ② 技術的範囲: 冷凍機器の修理以外に、ディーゼル発電機, 海水浄化装置等の保守管理にも従事するため、電気一般の知識も要求される。
- ③ 業務の形態: 保守管理に主として修理業務。
- ④ カウンターパート: 中卒。男子。技術水準は、サモアに言えば上級。
- ⑤ 利用できる材料: 全て揃っている。
- ⑥ 求職のオオ同人及び専門家: 隊員のみ。
- ⑦ 使用言語: 英語, サモア語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(in SA)

全ての設備、材料類は日本からの水産関係の供与を受けることになり、保守管理に依る一時的な業務は、隊員のカウンターパートに任せている。

現在も、このカウンターパートは技術的に未熟であるため、どうしても、交替隊員が中心である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

工業高校卒業程度。冷凍機器以外に電気全般に付属的な知識が必要。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 1 月 31 日

31502 視聴覚機器

調査者氏名 柳井 遼

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Audio-Visuel	(男) 人	訓練開始 1980年 4月
	(日本語) 視聴覚機器	(女) 人	派遣予定 1980年 8月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de Jeunesse et des Sports
(日本語): 青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: L'Institut National des Sports et de Jeunesse 日本語名称 (国立スポーツ・青年学校)
所在地: Kasar Said, Tunis 主要都市からの距離 (市心より 8 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 青年スポーツ省の4年制の指導者養成学校、一学年約100名、3年生から専門分野を選び、一部の学生はJeunesse (青年)専攻となり、視聴覚教育がその中心となる。(79年度で、3年生5名、4年生8名)

ニ. 設備概要: Centre d'Audio-visuel とし 3室あり、一室は暗室、白黒写真の実習はできる。AV 機器とし 16mm映写器 2台、8mm映写器 1台、スライド映写器 2台、VTR 3台 (ソニー2、パナ1)

(2) 隊員の業務内容: ビデオカメラ 3台 (ソニー2、パナ1)、ステレオプレーヤー (ソニック)、テープレコーダー 1台、ラジオ 1台 (パナ)。さらに機材購入の計画がある。

上記 Jeunesse 専攻学生は卒業後、青年の家 (maison de jeunes) の Directeur 又は Animateur (指導員) になる。他の者はスポーツ教師となる。

隊員は Centre d'Audio-visuel の管理及びそこで行われる授業の手伝をする。フランス語の力がある場合は授業を持つ可能性も大きい。現在週に 4~8 時間。技術の範囲としては視聴覚機器全般の知識が望まれる。現在手持ちの機器について使用説明書等はほとんどなく、故障はほとんどに起る。メーカーのアフターサービスは不十分で、かつ修理店 (街中の) については多少の技術的に不足している。隊員に対してはこれらの修理が期待されている。学生の授業内容は 1,2 年は視聴覚機器のソフトウェアが一般教養として、3,4 年は写真実習、ビデオ実習が行われる。隊員が業務に当たる年度は Jeunesse 専攻ができる 3 年目からになるが 2 年目についても現在の処、視聴覚教育を学校としてどう運ぶか迷いがある。ソフトウェアの知識があるといい。即ち、管理 (機器の) の面でハードウェアの知識が、又授業を運ぶ場合にはソフトウェアの知識が必要となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在のチュニジア人教師はソフトウェアはこなしせても、機器の管理等に当てるハードウェアの知識に欠けている。そこで技術の優れた日本人協力隊員の専請を希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○上記 (1)ニ. に述べた如き機器を十分良く使いこなし、かつ保守、修理ができること。望むくは大学の電気、電子関係専攻者。実務経験 3~4 年以上。フランス語をしっかりと学習していること。アラブの厳しい人間関係に対応して行ける人間的に巾のある人物。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

316 自家発電機

記入昭和 55 年 7 月 / 日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Generator Engineer	(男) / 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 自家発電機整備	(女) 人	派遣予定 (20人) 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 7 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Home Affairs			
1. 配属先名称 (現地公用語): Zambia Police Headquarters Signals			
(日本語): 内務省、ザンビア警察庁、無線通信部			
2. 隊員勤務先名称: Zambia Police Signals Workshop Lusaka 日本語名称 (警察無線機械工作所)			
所在地: P.O. Box RW103, Lusaka 主要都市からの距離 (Lusakaより約 40km)			
3. 事業規模及び内容: ザンビア警察無線用小型エンジン発電機の修理及び据付け工事が主たる業務で、7-クワットは発電機用エンジン整備も含む工作所である。職工は6名で職長は1名。作業場の広さ 80坪			
4. 設備概要: 設備は応分のものがあり、工作機械なども数種類あるが部品不足と予算不足で十分に稼働する状態ではない。			
(2) 隊員の業務内容: 小型エンジン (3Hp~15Hp) 発電機の修理、取付け工事(据付け)が中心で、その他自動車修理、電気工事などを行なう。普通は工場で業務を行なうが、野外でキャンプしながら遠方の無線局で出張修理、工事を行なう事も多い。業務内容は広範囲にわたる各種の知識、技能が要求される。(例: エンジン、電気回路、配管、溶接、車輻板金、工作機械など) ザンビア人職工もかなりの仕事をそれぞれに行なっているが、電気回路などでは指導が必要である。隊員に要求されるものは一歩の高度な知識、技能ではなく、ザンビア人職工に対する指導力、統率力である。予算及び車輻不足の為、仕事量の大小にかなりのムラがあり、仕事のない時は2か月も3か月も向もすることがない場合がある。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ザンビア警察庁通信部では現地人技術者の指導養成よりも、労働力としての協力隊員に期待している。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ザンビア人上司と英語での交渉能力及び交渉意欲がある事。職長としての指導力、統率力があり、体力に自信がある事。電気を中心としてエンジン、機械に知識と興味があり、経験5年以上、大卒が望ましい。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

320 電気工事

記入昭和 55 年 3 月 31 日

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Electricity	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 320 電気工事	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): BUREAU OF MANPOWER, EMPLOYMENT AND TRAINING
(日本語): 労働社会福祉省職業訓練局 (BUMET)

ロ. 隊員勤務先名称: Technical Training Centre 日本語名称 (ラジヤヒ職業訓練センター)
所在地: (Shopura, Rajshahi) 主要都市からの距離 (ラジヤヒより) 3 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 2年制の職業訓練センターで土木建築製図, 機械製図, 木工, 板金・溶接, 工作機械, 電気工事, 自動車整備の7コース, 教師21名, 生徒412名

ニ. 設備概要: 国連のプロジェクトとして機材が入っており, 施設も1968年開設と新しくはなすが生徒寮宿舎を含め整っている。

(2) 隊員の業務内容: ※2次5か年計画では10カ所の取訓増設を計画し、~~既存~~ 既存のワカ新施設はあるが内容充実の必要があり, 隊員の指導が望まれている。当取訓もあと15名程度の教師を必要とし, 隊員は授業を持つ一方指導方法論と教師に助言することも望まれている。

① 隊員の業務上の地位: 校長下の教官

② 技術の範囲: 内・外線工事, モーター巻線等の講義, 実習指導, 高圧実習は他機関に出向いて行う。

③ 業務の形態: 教室での講義, 実習

④ 対象者及びカウンターパート: 生徒各学年40名強。14~18才。10学年卒業生(SSC)で16~22才。一般課目で英語, 数学・科学がある程度。教師は10学年卒業後取訓等を経て経験3年以上が最低(22才~35才)。現在電気工事には2名の教師がいる。

⑤ 現地で利用できる機材: 大きな実習場があり, 屋内配線実習用壁5面, ストップ類, 実習台, モーター, 各種工具が整っている。

⑥ 取場における外国人: なし。協力隊員製図, 自動車が赴任予定。

⑦ 使用語: バンガール語, 教師は英語可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 何とか~~増設~~施設, 機材は国連の援助で整ってきいているが, 教師の質の向上が問題となっており, ダッカに西トシによる教師用取訓があるが, 直接現場での指導が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大・高専卒以上, 卒業後3年経過が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 15 日

320 電気工事

調査者氏名 岩橋一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 55 年 9 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Labour
 (日本語): 労働省

ロ. 隊員勤務先名称: Karurumo Craft Training Centre 日本語名称 (カルクモ技術訓練所)
 所在地: Karurumo, Embu 主要都市からの距離 (ケニアより 25 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 電気工事のほか自動車整備、洋裁、農業等の訓練コースがあり
 年々 20 名程度の訓練生を抱えている。

ニ. 設備概要: 10 坪程度のワークショップ 数教室あり。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 電気工事コースの指導員
- ② 技術の範囲: 屋内・屋外の配線工事等電気工事全般にわたる。
- ③ 業務の形態: 教師である。
- ④ 経験者: カウンターパートはまだ存在しないが生徒の平均年齢は 15 才位
- ⑤ 利用可能な教材: 交換要員であり前任者の教材が利用できるが十分とはいえない。
- ⑥ 必要人数: なし
- ⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ケニアにおいては技術者の養成が各分野にわたって強く要望されており、
 電気工事の技術者を育てる本プロジェクトもカルクモ技術訓練所関係者(関係者)に
 地元の人々から大きな期待を寄せられている。カウンターパートが育つまで
 協力施設の協力は続けられるべきかと思料する。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- (工業高専卒以上)
- (電気工事全般について英語で教えらるること)
- (労働組合に属するのじ実務の経験もある程度あること)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 10 日

320 電気工事

調査者氏名 駒沢彰夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 55 年 12 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56 年 4 月
	320 電気工事	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Agriculture Livestock Development Authority*
 (日本語): 畜産開発公社 (LIDA)
- ロ. 隊員勤務先名称: *Mara Dairy Company Ltd.* 日本語名称 (マラ乳業会社)
 所在地: *Arusha* (本社、工場) 主要都市からの距離 (ルダより 650キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:
 テラパックの牛乳とバター、アイスクリームの製造をしている。
 原乳処理能力は 3600 LTR/DAY だが実績はすと低い。
- ニ. 設備概要: テンダーの援助により建設された近代設備を有する。

(2) 隊員の業務内容:

工場に設置されている牛乳処理加工プラントについて、その電気設備の保守管理を実施すると共にカウンターパートに対し技術指導を行う。専門技術者として上記の外に設備の改善案のアドバイスや部品の管理、調達などの業務の一部を分担する必要がある。

- ① アルシア工場 電気技術者 ()
- ② 80kW 発電機 3 台と配電盤、粉ミルク製造プラントのコントロールパネル、VHT コントロールパネル、ボイラー、コンプレッサー、テラパック設備、各種ポンプ、モーター類。コントロールは空気回路と弱電を結合して切ることが可能に理解出来る方がよい。
- ③ 工場内にワークショップがおり設備は整っている。
- ④ 他の外国人はいない。
- ⑤ スワヒリ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

建設採業者当初入ったタンザニア人技術者はひよび、佐藤富広隊員 (48/E)、樋口慶隊員 (52/E) に続く 3 代目隊員となる。協力隊員に対する評価は高く早くから交替の要請が有るという事がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 工業高等又は大学電気科卒業
- ② 発電設備、変配電設備の現場経験 2~3 年の者
- ③ 業務が多岐にわたるので実務経験が必要である。
 各所にコントロール回路があるでシリンズ図面が読めること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年8月27日

321 電気機器

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Electric Instruments (Power plant), 電気機器(発電設備)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		どちらでも可) 人	受入期限 55年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower and Youth Council (NMYC)
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development (通称) (国立中央職業訓練校)
所在地: East Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (マニラより5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 比国大統領府と国連(ILO, UNDP) との共同プロジェクトで out of school youth, 地方訓練校の教官, 工科系大学の教官, 一般企業人を対象とした職業訓練指導を実施する。なお地方に10の Training Center を有している。
ニ. 設備概要: 別添の写真を参照してください。

(2) 隊員の業務内容: 電気科 Power plant and Maintenance Course は 1955年2月に開設した予定であり、現在は Course の Outline の作成段階でディーゼル発電機 (Compound Type) を仮設したままである。この据付けは12月頃に予定である。ILO から導入した本機は教育用に製作されたものであり、各種実験をするためには種々のアクセサリを購入し、この Course の実施は計画されている。

更に、当 Course を担当する教官は全く発電機の経験がなく、発電機の基本原理、システム、保守、修理時に事故を防ぐための保守管理が重要なポイントとなる。

① 隊員の業務上の地位: JOC V Expert.
② 技術の範囲: 電気工事の電子制御における1-4制御 (ロジックシーケンスを含む) とその範囲に亘る技術が要求される。

③ 業務の形態: 教官に付する指導。
④ 加わりのパート等: 1名36才 (教職課程の卒業)。

⑤ 現地で利用する機材: カタパシ中継器1台 (15種)、送電機1台、実験装置1セット、英国製ディーゼル発電機 30KVA, 24KW 屋内型 (1台)、スウェーデン製小形電力用変圧器 (1台)、小形電力用変圧器、計器用変圧器、保護継電器、電圧、電流計 (多数) 別添の写真を参照。

⑥ 必要用人等: いない。 ⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 比国政府は隊員 (3名/前期, 電気機器) の派遣を希望。Power plant and Maintenance Course の確立が期待されている。(一般工業用電源, Stand-by電源, 非常用電源, 無電地域への供給には不可欠であるディーゼル発電機システムの運転, 保守及び修理可能な技術者の養成)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 工業高校電気科卒以上の学歴をもち、送電系業務経験最低3年以上あり、同等に送電系の知識を十分に持っていること。
- ② 電気工事士資格保持者程度の実力以上の者。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

321 電気機器

記入昭和 53 年 9 月 9 日

調査者氏名 山本雅生

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
モロッコ国	(現地公用語) INSTRUMENTS ELECTRIQUES	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電気機器	(女) 人	派遣予定 1979 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Office de la Formation Professionnelle et de la Promotion de Travail (M.T.F.P.)
(日本語): 職業訓練省(の振興公社(の(の(利省)と(利省)院(公社))
2. 隊員勤務先名称: Institut National de Formation des Cadres Techniciens (I.N.F.C.T.) 日本語名称 (国立技術養成学院)
- 所在地: Casablanca : 649, Biv. Mohamed V, Casablanca 主要都市からの距離 (Rabatより 90キロ)
3. 事業規模及び内容: 当国職業訓練は上記(利省)振興公社と(利省)院(公社)による。現在(利省)院(公社)工業(利省)院(公社)の訓練センターだけでは不足し、I.N.F.C.T.は訓練センターの教官養成機関であり、入学受験資格は高等学校卒業、修学年限は2年間である。
4. 設備概要: 各訓練科目の電気・産学用設備が整っている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: Conseiller Technique (技術顧問)
2. 技術の範囲: 上記業種科目の技術士資格と有し、教員としての技術経験者が通常有る。
3. 業務の形態: 実技とそれに関する理論を平行して教える教官の役割並びに教官の技術指導。
4. 対象者: 少人数修業クラスノ学生、また技術顧問として教官の教官 (Formateur) 学生は上記の(利省)院(公社)卒業生、教官は大学相当の技術者養成機関の出身者。
5. 教材: 基本的には設備されている。
6. 諸外国の協力: 現在は居ない。この大卒後の某国がラジエーター、実技能力面が語学力不足から着任3ヶ月で辞任している。
7. 使用言語: フランス語
8. 業務時間: 週40時間
9. 附記: (利省)院(公社)理事長の意向、(利省)院(公社)大卒が主要し、理論上の経験者代表及び労働者代表が入っており、公社の事業目標は産業界の需要に答える中級・下級技術者の養成に努めると同時に、併せて、進学不可能な青少年を人的資源として生かすこと。28の訓練センターの技術科目は現在下補に列記の通りであり、本要項は、その教官養成機関からのものである。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

I.N.F.C.T.には教官養成科目増設に伴う技術力補填の必要性を最もとる。当国職業訓練省の職業訓練局では、同省に対する日本の援助として、諸外国の並べ訓練センターの設置、主要な中心として、人口の5割に及ぶ青少年に対する職能教育の振興は当面の最優先事項の中で主要な柱として、この調査まで進められている。そのための教官養成は必須事項である。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 職業訓練 産学相当可能な言語能力、専門技術、高等教育卒業後数年の経験と有し当該分野に必要とされる職業教育の経験者 (電気工業、冷凍空調、自動制御、プラスチック加工、機械製作、製粉、中級技術者養成、繊維機械、基礎工務、基礎電気、自動車修理、板金、解凍機、フライパン、テレビ機、家電機械、ビデオ、電気修理、工業ボイラー、工業用ポンプ、機械修理、金物加工、印刷機械及び建築関係(6科目))

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 19日

322 電子機器

調査者氏名 新井 昭三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Electronics	(女) 人	派遣予定 56年 2月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	電子機器		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Don Mariano Marcos Memorial Polytechnic State College*
 (日本語): *ドン・マリヤノ・マルコス 記念州立工科大学*
- ロ. 隊員勤務先名称: *同上* 日本語名称 (*同上*)
- 所在地: *Cagayan de Oro City Misamis* 主要都市からの距離 (*より* キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: *大学高校に生徒数 約1700名 教職員数約80名とフィリピンに於けるこの種の学校では中程度の規模。*
- ニ. 設備概要: *数年前までオランダのオランダ語が主の電子実験の装置の機器以外は無い。*

(2) 隊員の業務内容:

隊員は *Instructor technician* として技術指導と実験装置の点検等の業務に従事する。

隊員の業務上の地位: *Teaching staff* として関係者に於ける技術指導の範囲: *電子機器の修理等、電気科の設置等について*

業務の形態: *大学内に於ける Instructor Technician としての技術指導。*

対象者及びカウンターパートの技術水準、年齢及び命令: *大学、高校の Instructor 又は Technician であるか、殆ど同一種の大学と卒業してない、知識の比較的豊富である。応用面での水準がある。年齢は 25歳~35歳。*

現地で利用可能な機械: *簡単な実験機器以外は無く、隊員が赴任後必要の機械を準備する必要がある。*

使用すべき言語: *英語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

以前、英国、オランダからのオランダ語が主の現在はいない。その後日本へ技術力を高く評価していると同様にこの隊員活動もよく理解しており特に *State College* において目玉と見られ、組織、整備孤立に力を入れている。今回最初の隊員要請とすべきものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒業程度、数年の実験と命令として 25歳以上を望む。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月13日

322 電子機器

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Electronic Instruments	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 55年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Technological University of the Philippines (TUP)

(日本語): フィリピン工科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()

所在地: Manila, Metro Manila 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1901年に設立された Arts and Trades 系の本格的な学校で大量の技術系学生を国内に送り出している。当大学の通信、電子、電気担当のインストラクターは2名あり、午前午後それぞれ3コマずつ行っている。午前、午後コマ数で約400名の学生。

ニ. 設備概要: 従前より、週に4日授業、理論科目、その日の都合で講義が行われていた。計測の設備はほとんどないが、中古品も数種ある。

(2) 隊員の業務内容: TUPは工芸学校を中心的存在であり、他に10の地方工芸学校と比較的設備、人材共に優れている。又、日本では海外への研修に行っている経験者が電気、電子関係だけで5名あり現在も1名日本への研修に行っている。ア(1)～(7)通信科では送信機、受信機、無線の練習、電子科では音響機器、TVなどの製作、故障修理の中心となっている。また真空管回路の修理、IC回路の修理、IC回路の修理、新入り機材の授業内容である。又電気科では室内配線、家電用モーター修理等を行っている。

- ① 隊員の業務上の地位: 技術インストラクター (インストラクター)
- ② ③ 技術の範囲、業務の形態: 各種電子機器、測定器の修理、保守及び管理。各種電子機器の使用法の手導、教材の製作。必要に応じて授業を行う。
- ④ 対象者及びカテゴリー: 当校大学生及びインストラクター。カテゴリーは19-19.50才前後 (日本への研修に行っている経験あり、大半)
- ⑤ 現地で利用可能な教材: 別添リストあり。
- ⑥ 母国の人等: なし。
- ⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 秋本信治隊員 (53才前、電気機器) の監督要請。本来は電気科に勤務していたが、内容が多岐化したため、電子を中心とした電気関係のインストラクターに転任し、電子機器の職種名を変更した。計測、TV修理も一歩前進して備えたい。11名中電子関係の内容の授業、実習等が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学電子科卒以上で、実務経験2～3年必要
- ② 教員免許を有していること
- ③ 数々の経験を有していること
- ④ 無線技術士1級程度の電力が欲しい
- ⑤ 社生時年齢が26才以上で欲しい

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 9 月 15 日

322 電子機器

調査者氏名 草野 忠雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Radio & T.V Servicing	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	ラジオ・TV修理		

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education, Technical & Vocational Education Dept.
(日本語): 文部省 技術・職業訓練教育局
- ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokaszemal 日本語名称 (職業訓練高校)
所在地: Taiping 主要都市からの距離 (Taipingより 9 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 中学卒業者を対象とした 2年課程の職業訓練高校。
冷凍機器, ラジオ・TV修理, 電気工事, 工作機械, 自動車整備, 溶接の
各学科がある。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

中学卒業程度の生徒を対象に、ラジオ・TVの修理技術に
関する実習指導に協力する。
生徒は中学を卒業する時点で上級学校への進学資格が得られ、就職に備えて
職業的技術習得を志す者が一般的に少く、特に数学の知識が充分
でないため指導上の隘路となっている。
教員は、技術教員養成大学: 修業年限3年 - 12ヶ月教育を受け勤務年限1~3年の
経験と有する。
授業は、マレー語で行われる。
特に携行を要する機材は少ない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は産業実務経験が乏しく知識は教科書のみ依存している。
実務経験豊かな隊員から進んだ技術も吸収すると共に校風確立のため
日本人の勤勉な姿勢を学ぶたいとしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専ら高校卒業以上, 実務経験2~3年以上,
カーテレビの修理技術及び知識を有している事。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 9 月 15 日

322 電子機器

調査者氏名 草野 忠行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Radio & T.V Servicing	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	ラジオ・TV修理		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education, Technical & Vocational Education Dept.

(日本語): 文部省技術職業訓練教育局

□. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokesyenal 日本語名称 (職業訓練高技)

所在地: Kelang 主要都市からの距離 (KLより45キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1978年創立, 中学生を対象とした2年課程の職業訓練高技。冷凍機、ラジオ・TV修理、電気工事、工作機械、自動車整備、溶接の各学科がある。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

中学生卒業後の進路を対象に、ラジオ・TVの修理技術に関する実習指導に携わる。

生徒は中学を卒業する時点で上級学校への進学資格が得られ就職に備えて職業的技術習得を志す者が、一般的に学力が低い。特に数学の知識が充分でない。指導上の隘路となっている。

教員は、技術教員養成大学 - 3年課程 - にて教育を受け勤務年限1〜3年の経験と有する。

授業はマレー語で行われる。

特に携行を要する機材はない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は産業実務経験が乏しく、知識は教科書のみ依存している。実務経験豊かな隊員から進んだ技術を吸収すると共に校風確立のため日本人の勤勉な姿勢を学ぶたいとしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専門高校卒業以上、実務経験2〜3年以上。からーテレビの修理技術及び知識を有している事。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 10日

322 電子機器

調査者氏名 真野 忠 臣

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Electronics & Communication	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): ministry of Education

(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: politeknik

日本語名称 (クワンタン高等専門学校)

所在地: Kuantan

主要都市からの距離 (市内より 5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1976年創設の中等技術者の養成を目的としている。日本の短大に相当する。修業年限は2年。目下はクワンタン工業高校に仮住み、同校の施設を利用して授業が行われている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

○ Lecturerとして中等職業訓練校又は普通高校卒業生を対象に電子工学について、実習指導にあたる。

○ 電子工学の基礎、オーディオ、ラジオその他電子機器の修理、マイクロコンピュータ、知識を有している事が必要である。

○ 現在、野村、平次両隊員が同科で活動中。

○ マレー語で授業を行う。

○ 携行可能な材料を。(できれば自分のための専門書が携行が望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本国の教育は理論に強みがあるが、その応用が乏しいので、この国での協力に期待が大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒又は短大卒

実務経験 2~3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年 4 月 10 日

322 電子機器

調査者氏名 吉満博

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Radio & TV Servicing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) ラジオ・TV修理	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education, Technical & Vocational Education Dept.
(日本語): 文部省 技術職業訓練教育局
- ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Kebangsaan 日本語名称 ()
所在地: Alor Star 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 中学生を対象とした2年課程の職業訓練高校
冷凍機器、電気工事、工作機械、溶接、自動車整備、商業等の学科がある

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

中学校卒業程度の生徒を対象にラジオ、TV修理に関する実習指導に協力する。マレーシアでもすでにカラーテレビの放送が実施されているが職業訓練高校で教えているのはまだ真空管の白黒テレビであり、新任の校長は当校に是非カラーテレビ技術を導入したいと熱望している。ハムの免許をもち日本とも時々交信している積極性のある校長である。

生徒は中学を卒業する時点で上部学校への進学資格が得られず、就職に備えて職業的技術習得を志す者で一般的に学力が高い。特に数学の知識が充分であるため指導上の障壁と付いている。

教員は技術教育養成大学(3年課程)を卒業し勤務年限1~4年の経験を持つ。

授業はマレー語で行われる。

学校にはカラーテレビに関する教材も機械もないので数台の中古のテレビと必要駆動機も携行する事が望まれる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は実務経験が乏しく知識は教科書のみ依存している。実務経験豊かな隊員から進んだ技術を吸収するとともに校風確立のため日本人の勤勉な姿勢を学びたいと望んでいる。特にカラーテレビの技術の導入を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専門高校卒業以上、実務経験2~3年以上
カラーテレビの知識、修理技術を有していること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年4月1日

322 電子機器

調査者氏名 田嶋 箱葉 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Ireland	(現地公用語) Electronics	(男) 1人	訓練開始 55年9月
	(日本語) 電子工学	(女) 人	派遣予定 56年2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: 地方の高校 おいし着都の

日本語名称 ()

所在地: 工業高校

主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容:

電子工学

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 教員
2. 高校 上級生に対し電子工学全般に肉し教授する
3. 小学6年, 中学2年, 高校4年の州高校上級生に
対し対象とする。
4. 高校上級生選抜専門課程の子の心幅広く教える
能力が要求される。
5. 多数のインド人教員が契約ベースで参加している。
6. 指導は全て英語でおこなわれるので相応の英語力が
要求される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国際開発のための人材養成のための教員

(4) 隊員の資格・条件 (特別条件について○印で囲むこと):

大卒, 教員免許, 教職経験者 (英語力の高いもの)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 15 日

322 電子機器

調査者氏名 柳井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Radio-TV	(男) 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) ラジオTV一般	(女) 人 (どちらでも可) 1人	派遣予定 56年 2月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère des Transports et des Communications
(日本語): 運輸通信省

- 隊員勤務先名称: Ecole des Postes et des Télécommunications 日本語名称 (郵便電気通信学校)
所在地: Km4 Route de Raoued, ARIANA, Tunis 主要都市からの距離 (Tunisより4キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 本校は1972年に運輸通信省の幹部取組養成のため設立された学校で現在、郵便、電気通信、情報管理の3部門を有し、それぞれ生徒数300(電気通信)150(郵便)150(情報管理)に対して35名の教員が1年~4年のコースによって専門教科を教えている。
- ニ. 設備概要: 電気通信分野(ラジオ、テレビ、電話等)の教授用機材、計器類、放送中継車はほとんど揃っている。隊員の活動分野によっては勿論追加するべきものも多くなるであろう。

(2) 隊員の業務内容: 本校は600名の法電気通信分野は300名の生徒がいる。基礎課程と専門課程の二つに分かれ、基礎課程は約60名で1年コース、バカリアに落ちた者が卒業試験で入学させ、1年後に技師補として電気通信(関係、放送関係へ)配属される。専門課程は2年コース140名、4年コース100名で、いづれもバカリア(大学入学検定)に合格した者が成績順に入学させる。2年コースを終った者は技師補に、4年コースを終った者は技師に任命されて省内のしるべき部門に配属される。隊員の任務は大学工学部の講師と同程度と考えられる。ラジオ、テレビの理論および実験指導送信から受信まで一応すべてについて授業する。隊員の能力を見て、何学年を指導するかを決定することになる。何れもフランス語で専門技術を教えられる力を持つていなければならぬ。生徒の年齢は17才~23才位で、70%が男子30%が女子である。無線工学基礎、ラジオ送信、ラジオ受信、テレビ送信、テレビ受信、電波伝播、空中線等すべてについて広く知識を有し生徒に判り易く教えられることが肝要である。当国のテレビはPAL方式およびSECAM方式を採用しているこの面での知識も十分に持つていなければならぬ。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在フランス人講師が3名おとほすべしチュニジア人講師であり今年9月からの新学期にはフランス人は1名のみとなる。電気通信分野でめざましい発達を続けている日本の技術への期待は大変なものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について◎印で囲むこと): 大学工学部の講師と同程度の授業を行なえる者◎大学工学部卒、経験2~3年、望むらくは大学院修了者。フランス語によって電気通信、電波の理論を教授し、実験の指導ができること。テレビ方式についてはPALとSECAMを研修しなくてはならない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

55. 4. 24

記入昭和 年 月 日

322 電子機器

調査者氏名 笹子 実

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) ELECTRONICS ENGINEER	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子技術者	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 56年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION

(日本語): 教育省

ロ. 隊員勤務先名称: EDUCATION CENTRE FOR THE DEAF 日本語名称 (聾啞者教育センター)

所在地: LIMBE

主要都市からの距離 (BTより20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: MONTFORT COLLEGEに所属するセカンダリー・スクール。学令生徒が主体で100名 教員15名。

ニ. 設備概要: 教室はダイナマイト外木工、裁縫、実験検査の各室の外。アミトリー。

(2) 隊員の業務内容:

生徒の使用する補聴器、音声増幅装置の保守修理の外、アイロンからステレオまでの幅広い電子機器の修理。

テロスコプ、低周波発振器、デジタルマルチメータ、テスター等あり。

グラマン (ダイナモ、ランプダイナモ、スルバーストライバ) がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

弱・強電共々よいこと。